

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	コレステロール結晶密度値画像を用いた頸動脈プラーク評価
研究責任者	脳卒中科 齋藤拓也
研究実施体制	当院のみで実施される研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2026年4月30日
対象者	【対象患者】2024年5月1日から2025年5月31日までに聖隷浜松病院を受診した頸動脈狭窄患者さん 【選択基準】頸動脈狭窄についてCT血管造影を施行した患者さん 【除外基準】救急外来にて緊急CT血管造影で頸動脈狭窄の評価が行われた患者さん
研究の意義・目的	頸動脈狭窄について、プラーク性状評価が脳梗塞リスク推定に重要です。今までCTではプラーク性状の十分な評価は難しいとされてきました。しかし dual energy CT を活用したコレステロール結晶密度値画像を用いることで、頸動脈プラーク内のコレステロール結晶の量、分布を評価できる可能性があります。本研究の目的は、頸動脈狭窄患者について、コレステロール結晶密度値画像を用いたプラーク性状評価の有用性を検討することです。
研究の方法	対象患者について、通常の診療として施行したCT血管造影画像データからコレステロール結晶密度値画像を再構成し、頸動脈プラーク内のコレステロール結晶の量、分布を評価します。また、対象患者さんについて、診療記録から患者背景因子(年齢、性別、既往歴など)、血液検査所見、画像所見(CT、MRI、エコーなど)を収集します。頸動脈プラーク内のコレステロール結晶の多寡と、各患者因子について比較検討します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 脳卒中科 齋藤拓也 TEL:053-474-2222(代表) 脳卒中科外来 9:00~17:00 平日